OSSプロジェクトにおけるプロジェクトマネジメントの実態調査

プロジェクトマネジメントコース　矢吹研究室　1042067　関口　元基

1．研究背景

現在，オープンソースソフトウェア（以下OSS）プロジェクトの開発者は，毎日コードを書いたりレビュ－をしたり，バグレポートを書きバグをについて議論したり，ドキュメントやwikiを更新するなどして，多くのプロジェクトに貢献している[1]．しかし，こうした活動を通じて生まれたデータをアーカイブ化して分析することは難しい．私たちの身近な問題として，プロジェクトを行う上で共有サーバ上に保存したデータがほかのメンバによって上書きされてしまいデータが消えてしまうことがある．また，データファイルの更新時，ファイル名が同じであるファイルをメンバが操作してしまうと，更新日がばらつき，どのファイルが最新なのかを把握できなくなってしまうリスクが発生する．そのようなときに便利なのがGitHubである．GitHubによって上述の問題が解決されるだけでなく，ソフトウェア開発の内情を調べることが容易になっている．たとえば，ソースコードの変更履歴を調べれば，その開発過程を知ることできるし，バグ追跡システムの履歴を検索すると，開発者同士のコミュニケーションの様子もわかる．これによりソフトウェア開発が盛んになり，OSSプロジェクトでの利用頻度は増える[2]（2にそんなことが書いてあるのですか？　ないなら削ってください）. OSSプロジェクトではどのようなプロジェクトマネジメントの手法が使われているのかを調査・研究し，マネジメント手法を提案することで管理体制の向上が期待できるのではないかと考えた．

2．研究目的

　GitHubなどのネット上で公開されているOSSを調査し，ソフトウェア開発の実態を明らかにする．GitHubからは，ソースコード以外にも，ソフトウェア開発にかかわるさまざまな情報を引き出すことができるため，それらを収集して解析することによって，OSS開発における，プロジェクトマネジメントの実態や課題を明らかになることが期待できる．

3．研究方法

　本研究では，GitHubで公開されているソフトウェアプロジェクトについてのデータを収集し，それを統計あるいはデータマイニング的な手法で解析することによって，OSSプロジェクトではどのようなマネジメントの手法が行われているかを研究する．

4．成果物イメージ

GitHub上でのプロジェクトのデータを分析し，オープンソースソフトウェアにおけるプロジェクトマネジメントの実態を明らかにする．

5．進捗状況

現在の進捗状況は，GitHub上のOSSプロジェクトを調査，分析している．今後は，大量のデータを処理するツールを導入することによって，統計及びデータマイニングを行う計画である．

6．今後の計画

|  |  |
| --- | --- |
| 日程 | 内容 |
| 2013年10月 | マネジメントの実態調査 |
| 2013年11月 | 実証分析結果を算出・統計 |
| 2013年12月 | 論文執筆 |

参考文献

[1] 経済産業省編.オープンソースソフトウエアの利用状況調査導入検討ガイドライン「オープンソースソフトウエアの現状と今後の課題についてhttp://www.meti.go.jp/kohosys/press/0004397/1/030815opensoft.pdf

[2] GitHub Social Coding : https://github.com/